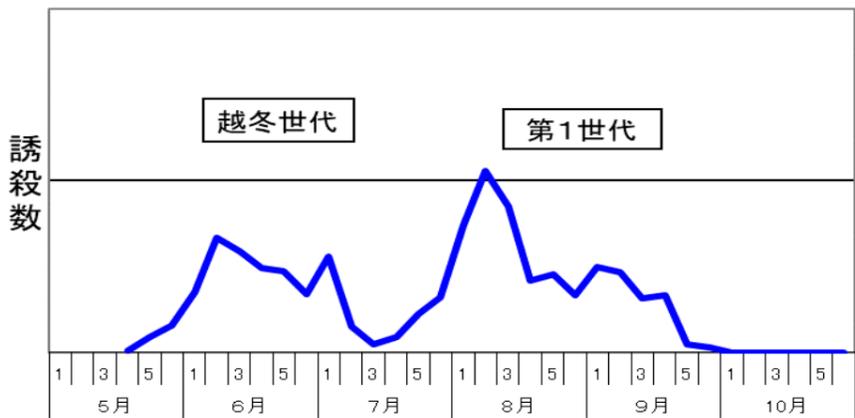


モモシクイガのフェロモントラップ誘殺消長（令和6年（2024年）調査）

長野県病害虫防除所

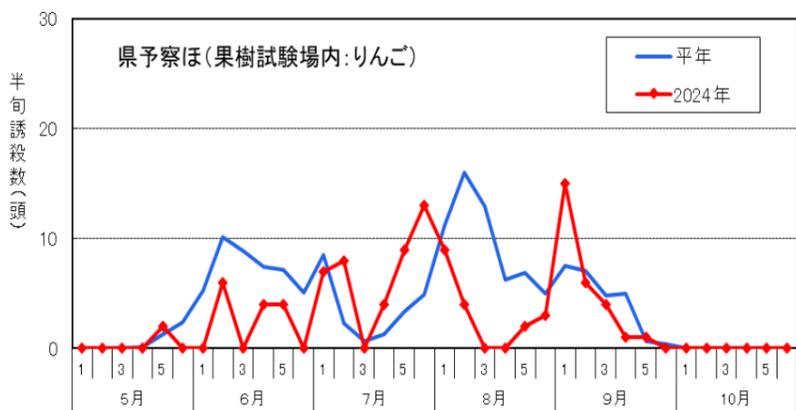
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 試験場予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・標高 600m以下の平地では年2回が大半である。
- ・準高冷地及び日照の少ない山沿いでは年2回発生が主体で、1回発生が混在する。
- ・越冬世代成虫は6月上旬から始まり、7月に入ると盛んになり、8月上旬まで続く。産卵は7月になると急増し、産卵最盛期は7月中下旬で、大半は「がくあ部」に産みつけられる。
- ・第1世代成虫は8月上旬から発生し、発生最盛期は8月中～下旬である。産卵最盛期は、成虫の発生期とあまり変わらない。
- ・防除はふ化幼虫の食入防止を中心とする。6月下旬から概ね2週間間隔で9月上旬まで防除する。特に7月中下旬と8月中下旬は重要な防除適期である。

○県予察ほ（須坂市 長野県果樹試験場）



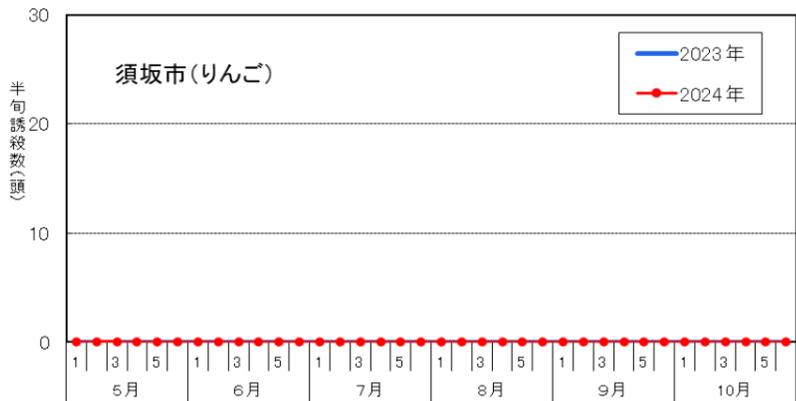
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は 2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、5月第6半旬～6月第6半旬は平年と比べ少なく、7月第1半旬～8月第1半旬は平年並であった。8月第2半旬～8月第6半旬は平年と比べやや少なかった。9月第1半旬は平年と比べやや多く、第2半旬以降は平年並であった。

○須坂市（病害虫防除所調査）

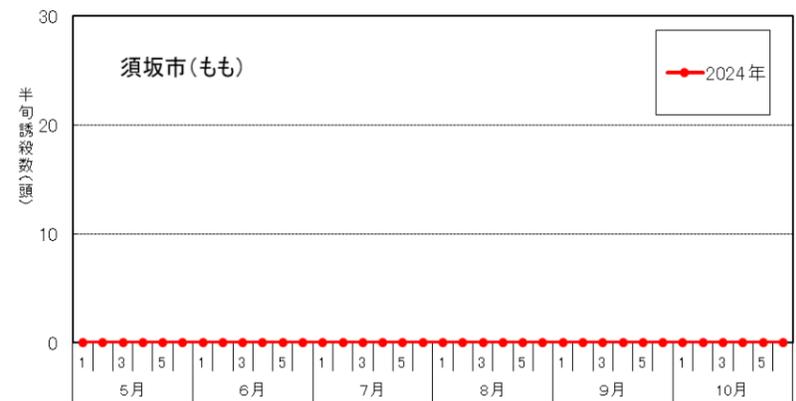


【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（りんごほ場）
- ・2023年からほ場を変更したため、平年値はなし。

【コメント】

- ・10月第6半旬まで誘殺はなかった。



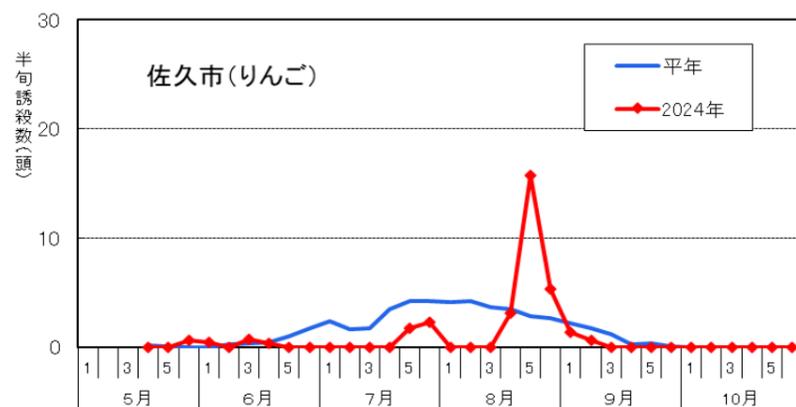
【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（ももほ場）
- ・2024年からほ場を変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・10月第6半旬まで誘殺はなかった。

○佐久市（佐久農業農村支援センター調査協力）



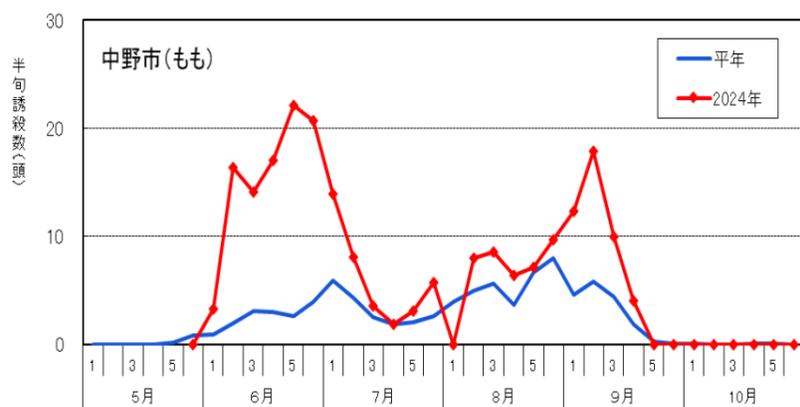
【調査地点】（標高約 680m）

- ・佐久市（りんごほ場）
- ・平年は 2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、6月第5半旬～8月第3半旬は平年並、8月第5半旬～第6半旬はやや多かった。9月第1半旬以降は平年並であった。

○中野市（北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 370m）

- ・中野市（ももほ場）
- ・平年は 2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、6月第1半旬～7月第2半旬は平年と比べやや多かった。7月第3半旬～8月第6半旬は平年並、9月第1半旬～第3半旬は平年と比べやや多かった。